

読解教材の作成試案とその指導

— 特別聴講学生対象『日本語 I』の事例から —

岩佐 靖夫

キーワード：読解教材，語彙一覧，指導留意項目，類語，語彙力増強

0. はじめに

2002年度前期の外国語学部日本語学科の講義科目「日本語 I」は、オーストラリア、台湾、韓国から来た特別聴講学生を対象とした読解力の養成を主眼とした講義科目である（オーストラリア人留学生3名、台湾人留学生23名、韓国人留学生24名、計50名、3クラス編成）。読解の教育は言語習得における重要な基礎科目であり、そこで、これらの外国人留学生に対する基礎的かつ有益な読解教材の作成試案、及び、それに基づく指導案を本稿で探ってみたい。

1. 『日本語 I』の講義シラバス

以下の通り、前期15回で取り扱う読解項目の講義シラバスを決めた。

第1回 随筆（1）	第9回 新聞記事（1）
第2回 随筆（2）	第10回 新聞記事（2）
第3回 随筆（3）	第11回 新聞記事（3）
第4回 随筆（4）	第12回 新聞記事（4）
第5回 小説（1）	第13回 最新の読み物から（1）
第6回 小説（2）	第14回 最新の読み物から（2）
第7回 小説（3）	第15回 まとめ
第8回 小説（4）	

2. 読解教材についてのアンケート

講義を行うにあたり、初めの時間に履修者に何を扱ってほしいかのアンケートをとった。

【アンケート項目】

- ア. 日本人で知っている作家名
- イ. 授業で取り扱ってほしい作家名（書名があれば書名）
- ウ. 興味のある読み物のジャンルについて。以下より任意選択
 a. 推理小説 b. 心理小説 c. 自伝的小説 d. 現代小説 e. 純文学
 f. 紀行 g. ノンフィクション h. 評論 i. 随筆 j. その他
- エ. 授業中に読解に加えて強化してほしい分野について。以下6題より3つ選択
 a. 文字・語彙 b. 文法 c. 作文 d. 発音 e. 聴解 f. 会話
- オ. 自分が得意な分野と苦手な分野について。上記エの6題よりそれぞれ2つずつ選択
- カ. 日本語を勉強することで、普段心掛けていること（箇条書きで記述）
- キ. 自分の英語の実力について選択（クィーンズランド大学の学生を除く）
 a. 殆ど分かる b. 大体分かる c. 普通 d. 少し分かる e. 全然出来ない
- ク. 授業での要望・希望について（箇条書きで記述）

3. アンケートの結果について

以下に結果を項目毎に検討して行きたい。

1と2は、複数の回答があったもののみをまとめた。1から5までは、解答が多かったものの順序である。尚、カとクに関しては回答が多岐に亙るので、取り集めたまとめた結果を記載するに留める。

ア. 日本人で知っている作家名

1. 夏目漱石	30名	6. 紫式部	8名
2. 村上春樹	27名	7. 芥川龍之介	4名
3. 大江健三郎	12名	8. 村上龍	4名
4. 川端康成	9名	9. 三島由紀夫	3名
5. 吉本ばなな	9名		

履修者全体のうち60%が夏目漱石を知っていると挙げたが、これは、学生自身の興味より母国での教育の影響が大きいものと思われる。それに対し、続く二位の村上春樹の知名度は注目に値し、留学生も日本の時代的、流行的な作品に強く興味を持っていることが伺える。五位の吉本ばななは一名を除き、全て韓国人留学生の結果であった。

イ. 授業で取り扱ってほしい作家名

1. 村上春樹	10名
2. 夏目漱石	9名

3. 吉本ばなな 3名
4. 現代の随筆, 現代小説 2名

アと同様この設問でも村上春樹が圧倒的で、吉本ばななは全て韓国人学生のリクエストであった。

ウ. 興味のある読み物のジャンルについて

- | | | | |
|---------|-----|-------------|----|
| 1. 現代小説 | 29名 | 6. ノンフィクション | 7名 |
| 2. 随筆 | 14名 | 7. 自伝的小説 | 6名 |
| 3. 推理小説 | 12名 | 8. 純文学 | 4名 |
| 4. 心理小説 | 9名 | 9. 評論 | 3名 |
| 5. 紀行 | 8名 | | |

ここでも村上春樹や吉本ばななに代表されるような現代小説に最も興味があるとする結果が出た。二位以降の読み物のジャンルは全てその半分以上となっている。10. に書いたその他の回答はなかった。

エ. 授業中に読解に加えて強化してほしい分野について

- | | | | |
|----------|-----|-------|-----|
| 1. 文字・語彙 | 37名 | 4. 会話 | 18名 |
| 2. 作文 | 30名 | 5. 聴解 | 15名 |
| 3. 文法 | 26名 | 6. 発音 | 13名 |

「日本語 I」が読解の講義であるためか、文字・語彙、作文、文法と1位から3位まで読み書きに関する学習事項を希望している学生が多い。この結果を鑑み、後記するような教材を試案とすることにした。

オ. 自分が得意な分野と苦手な分野について

- | 得意な分野 | | 苦手な分野 | |
|----------|-----|----------|-----|
| 1. 文法 | 20名 | 1. 聴解 | 29名 |
| 2. 作文 | 12名 | 2. 会話 | 20名 |
| 3. 文字・語彙 | 11名 | 2. 文字・語彙 | 20名 |
| 3. 発音 | 11名 | 4. 文法 | 16名 |
| 5. 聴解 | 9名 | 5. 発音 | 13名 |
| 6. 会話 | 8名 | 6. 作文 | 10名 |

読む書くに関することは得意で、聞く話すに関することが不得手であるとする、ほぼ事前に予想した結果が見られた。これらの聴解や会話等の項目も講義中に扱わないではなかったが、「日本語 I」

が読解力養成を目的とする講義であるため、教材の作成はエの方の結果を優先的に考慮することにした。

カ. 日本語を勉強することで、普段心掛けていること

- ・聞くことと話すことを意識的にしている
- ・会話をする 것과外来語を覚える
- ・アクセントと発音に気を付ける
- ・話す時のアクセント、発音に気を付ける
- ・正しい文法の使い方、及び、語彙、文字を覚える
- ・先ずたくさん言葉を覚え、日本人と話す時、礼儀に注意する
- ・語彙力増強のためにいろいろな本を読み、漢字を中心に勉強する
- ・文字・語彙力の不足を痛感しているので、少しずつ単語を覚える努力をしている
- ・漢字の読み方に気を付けている
- ・漢字と発音に気を付けている
- ・作文と聴解に気を付けている
- ・外来語や漫画などに出て来る若者言葉や文法的な側面に注意する
- ・日本人が話している普通の言葉を注意して覚える
- ・日本人と話す機会を自分から積極的に増やす
- ・毎日テレビ番組を見る
- ・テレビの番組を見る時、音がはっきり聞こえるように音を大きくし、その際、分からない単語があればメモをして辞書で調べるようにする
- ・テレビ番組を見る時とか人と話す時、分からない言葉を書いて辞書で調べる
- ・テレビを見る時、会話の表現に注意する
- ・ビデオを見て、俳優の細かい会話に耳を傾ける
- ・教科書を参考にして、日本のドラマを見、言葉を聞き取る
- ・日本の映画を見、漫画を読む

キ. 自分の英語の実力について

- | | |
|-----------|-----|
| 1. 殆ど分かる | 0名 |
| 2. 大体分かる | 4名 |
| 3. 普通 | 14名 |
| 4. 少し分かる | 20名 |
| 5. 全然出来ない | 5名 |

この問題は、授業中、及び事前に配布物を準備する段階で、媒介語である英語の使用をした方がいいかを検討するために調査したが、全然出来ないと回答した学生が、履修者の10%に達し、殆ど、大体分かるの8%を上回っている。自己評価の英語力を普通以下とした回答が、全体の80%近くに達しているため、ここで、英語の使用の可否については、有効かどうか断定し兼ねるが、この結果は、台湾や韓国などのアジア圏の留学生を相手にした英語の使用は、必ずしも有益な理解が期待出来ないという一側面が証左されている。上記の結果から、この講義も従来の予定通り、教材作成から実際の講義まで、全て日本語の直接法で行うことにした。

ク. 授業での要望・希望について

- ・語彙力を伸ばしてほしい
- ・語彙力、及び文法力を強化してほしい
- ・似ている文法表現の違いを教えてほしい
- ・類語の相違について、具体的で詳しい説明を聞きたい
- ・作文したものを正しく自然な日本語に直してほしい
- ・文章中の分からない語彙や文法を理解して、文章の意味が掴めるようにしてほしい
- ・難しい箇所は、例をあげながら詳しく説明してほしい
- ・多くの文章を読み、理解出来るようになりたい
- ・多くの文章を読み、自分の読解力を向上させたい
- ・おもしろい文章が読みたい
- ・おもしろい文章をたくさん読みたい
- ・はじめはやさしくておもしろいものを勉強したい。徐々に、レベルをあげてほしい
- ・固い文章ではなくおもしろい文章がいい
- ・おもしろい授業を期待している
- ・会話を通したおもしろい授業をしてほしい
- ・日本の社会や文化に関することも教えてほしい
- ・時折、授業で日本の文化や歴史が分かる教材を取り入れてほしい
- ・時折、小テストを入れてほしい
- ・一級の能力試験に合格するために、文法、語彙、読解力をつけてほしい
- ・板書する時、ひらがなを書いてほしい(クィーンズランド大学の学生)
- ・漢字にひらがなを書いてほしい
- ・やさしく分かりやすく説明してほしい
- ・聞き取りは難しいので、ゆっくりと説明してほしい。発表はやめてほしい
- ・作者の意図を作品を通じて分かりたい

4. 講義で取り扱った題材

以上の結果から、新聞記事と最新の読み物については、講義の時期が更に近付いてから具体的な題材を決めることにし、随筆と小説については下記の二点を取り扱うことに決定した。

随筆…鈴木孝夫著「ゲー公のこと」

小説…村上春樹著「ノルウェイの森」

5. 作成した教材

以下、初めの随筆「ゲー公のこと」について、筆者が作成した教材である。作成した教材は、アンケートの結果と読解の講義であることを踏まえ、語彙一覧の形にとった。

語彙一覧例（原文は縦書き、一部抜粋）

特別聴講学生 日本語Ⅰ 随筆 その一

鈴木孝夫「ゲー公のこと」（新潮文庫『ことばの人間学』より）

（前書き）

オナガ [尾長] おなが 尾が長い取りの意味から

（第一段落）

いや [否]		(弱い「いいえ」の形)
野良猫	のらねこ	野生の飼われていない猫
杳掛	くっかけ	長野県軽井沢市郊外の地名
自由勝手	じゆうかって	
元来	がんらい	
本州	ほんしゅう	
地方	ちほう	
一足とびに	いっそくとびに	普通の順序段階を踏まずに急に
見出す	みいだす	類語…「見付け出す」（「優れた才能を見出す」と「うまいやり方を見付け出す」）

どちらかといえは

どうしたことか どうしてだか、なぜだか

珍鳥 ちんちょう

野鳥 やちょう

スズメ [雀]

カラス [鳥]

群れを成す	むれをなす	
柿	かき	
トマト		
失敬	しっけい	軽い気持ちで黙って他人のものを持っていくこと
一部	いちぶ	
農家	のうか	
園芸家	えんげいか	
ゲーイ		(鳥の泣き声)
ギャーイ		(〃)
だみ声 [濁声]	だみごえ	音に濁りが感じられる声。魚屋の売り声など
もつとも [尤も]		ここでは、『しかし』
近頃	ちかごろ	最近
ハスキー・ヴォイス		
旧弊な	きゅうへいな	古い習慣を頑固に守っていること
ピンと来る	ピンとくる	すぐにそれだと感じる
もてる		好感を持たれる
充分	じゅうぶん	「十分」とも

参考：上記語彙一覧の本文

ゲー公のこと

今から二十年ほど前、巣から落ちて死にかかっているオナガの雛を助けたことがあった。この話はその鳥が一年後に成長となって自然に戻って行くまでの記録の一部である。

家では今ゲーという名のオナガを飼っている。いやオナガと一緒に住んでいるといった方が本当かも知れない。野良猫の心配のないこの沓掛の山小屋では出るも入るも自由勝手にしてあるからだ。この尾長という鳥は元来あまり多い方の鳥ではなく本州でも地方によってはいない所がある。国外での分布も変わっていて朝鮮半島から満州の一部にいるほかは、一足とびに南欧スペインにだけ見出されるというどちらかといえば珍鳥のうちである。ところがどうしたのか、戦後急にこれがふえはじめ野鳥といえば先ずスズメ、カラス位しか見られぬ東京の、しかも旧市内にまで進出し、あちこち群をなしてすみ、庭木などに巣を作りはじめた。柿やトマトなどを失敬するので、一部の農家や園芸家からは嫌われるが、長い立派な尾を持った実に優美な鳥である。しかし声の方はどうみても余りよくない。ゲーイとかギャーイとかいうだみ声だ。もつとも近頃は人間の内でもハスキー・ヴォイスとかいって旧弊な私などにはどうもピンと来ない声もてるようだから、オナガはこの点でも戦後派の資格充

分といえるだろう。

語彙一覧には、オーストラリアの学生、及び初級段階の学生のスムーズな理解を促すため、漢字の語彙にはすべてひらがなを付けた。又、そうした初級段階の学生を含み、殆どの学生に意味が容易に想像されると思われる言葉については説明を省き、読解の講義が語彙の説明のみに終始しがちな傾向を削除した。更に、台湾及び韓国の漢字圏の学生の理解促進のため、本文中でひらがな及びカタカナで記載されている語彙中、漢字があるものに関しては[]内にその表記を記載した（以降作成した語彙一覧も原則的に上記同様に作成した）。

6. 語彙一覧に基づく指導留意項目

アンケートの結果を鑑み、上記で作成した語彙一覧に基づき、指導する際の留意項目をまとめた。

・類語について

「見出す」の項目にあるように、以降、「どうも」と「どうやら」、「～始める」と「～出す」といった学習者の希望している類語を語彙一覧に記載した。読解と並行して、こうした類語の具体的な相違点の理解、類語の定着には終始努めたが、こうして語彙一覧に挿入した類語については、概ね学生の参考となったようで、講義では多くの学生が熱心に説明を書き取っていた。

[語彙一覧の記入例]

見出す みいだす 類語…「見付け出す」（「優れた才能を見出す」と「うまいやり方を見付け出す」）

講義での学生の意識を集中させるため、あえて語彙一覧には意味の違いについての説明は書かず、例文のみを記入し、具体的に相違点を考えてもらう方法を取った。

上記例の指導案としては、学生に考察をさせた後、必要に応じて、「自分の長所を見出す」、「人生の意義が見出せない」、「昨日書店で長い間探していた本を見付け出した」、「この前、土の中から古代の化石が見付け出された」と更なる文例を提示し、「見出す」は対象が抽象的で本人がそれまではっきり認識していなかったものに、「見付け出す」は隠れていたものの存在が明らかになることに主眼があることを把握させる。

このような類語の違いについては、後日、随筆なり小説なりの題材が終わった段階で、二者択一の形で改めて学生に理解を問うプリントを課題とした。

・語彙力の増強について

扱った題材「ゲー公のこと」は鳥に関する随筆であり、語彙一覧では、珍鳥、野鳥、スズメ、カラスといった鳥に関する語彙が散見される。これに注目し、先ず「鳥」に関する語彙から学生の語彙力の増強をねらった。

①「鳥」の種類を提示する。

候鳥、留鳥、害鳥、白鳥、海鳥、山鳥、水鳥（後三者は読み方を注意させる）

②「鳥」の読み方に関連した語彙を提示する。

鳥肌、鳥居、鳥刺し、鳥目、など。

この関連語の提示は類語における説明とは異なり、簡単なジェスチャーを含めるだけで直接学生の理解に結び付くため、驚くほど効果があり、最も即効的でプラクティカルな語彙力の増強方法である。ここでは、他に、「園芸家」、「農家」の「○家」のつく語彙から上記同様関連語を提示して語彙力の増強を図ることが出来る。

又、「ズズメ」、「カラス」などの具体的な鳥の名前については、「鳩」、「鴉」、「（中華料理で用いられる）アヒル」、など日本社会と留学生に一般的な鳥の名前をあげて語彙の増加をはかった。ここでは、他に、具体的な名前から語彙力を増強させるものとして、「トマト」から野菜名、「本州」、「地方」から日本の大きな地域名を習得させることがあげられる。

・助詞について

語彙一覧の中で、助詞についてトピックとなる項目をあげる。

「元来」 ○オナガは元来日本にはあまりいませんでした。

×オナガは元来から日本にはあまりいませんでした。

「元来」、「本来」、「従来」など「○来」の言葉には、助詞「から」がつかないこと、それぞれ独立した副詞であることを理解させる。その他の細かい助詞については、前記アンケート中、この講義で個々に扱うことを希望していなかった傾向が強かったため、後日、類語定着のために課したプリントに含めて、「群をなす」、「人間関係に悩まされる」など、学生に助詞一字を挿入する問題のプリントを与えた。

・教授しにくい項目をどう教えるか

「だみ声」

「ハスキー・ヴォイス」

かつて、「だみ声」についてかつて筆者が「しゃがれた声」と説明した時、学生から、『「だみ声」と「しゃがれた声」とは何ですか。今一度両方説明してください。』と聞かれたことがあった。

「しゃがれた声」とは「舌（が）涸れた声」として当座を凌いだが、これは多くの学識者の指摘する「ことばの「意味」をことばそのものの「定義」ではなく別のことばの「意味」を以て伝えることは不可能」という失敗をあからさまに犯していることになる。ここでは「舌が涸れた声」というのが定義に近かったため、学生に対し、「舌が涸れてしまっている声、どのようになりますか?。」と教えたことで一応の理解を示せたが、今回は言葉の正確な定着のために、以下のような方

法をとってみた。

「だみ声」→「魚屋さんはこういう声でよく売っています。」

「ハスキー・ヴォイス」→「JAZZの歌手」と板書。

チャーリー・パーカーやサラ・ヴォーンなどのジャズ歌手の
ハスキー・ヴォイスのテープを聞かせる。

教授しにくい語彙の有効な指導方法として片桐（2001）が指摘している通り、1. 長い文章で説明せず、単文から一つ一つ説明する。2. 辞書に記述されているような説明はせず、「～のとき」「～に行きました」のように、必ず場面設定をし、ストーリー展開をする。3. 場面設定では、留学生が遭遇するであろう状況を考える。という項目が現実的で有効な指導項目であると考えられる。これらの項目に照らし合わせると、「ハスキー・ヴォイス」は「JAZZの歌手」と板書で示しただけでは、語彙そのものの正確な理解には及ばず（実際殆どの学生は分からなかった）、やるべきかどうかの判断がつかねたが、実際のテープを聞かせて「（ハスキー・ヴォイスは）これです」と提示したところで、すぐの理解となった。片桐は全部で五つの語彙説明の項目を与えているが、特に上記の最初の三つは、こうした教授しにくい項目をどう教えるかの重要なヒントが示されていると思われる。

以上が、「日本語Ⅰ」の最初の講義で、読解教材を扱うに際しての作成した教材の試案、及びそれに基づく指導方法である。

7. 流行している読解教材の取り扱い

既に御一読で御存知の方も多と思われるので、ここでは詳しい話は省略するが、小説「ノルウェーの森」は、個人的には流行小説か現代小説か判断がつかね、大学の講義においては取り扱い難い箇所が散見されている。今回は、こうした箇所について、部分部分を削除して残った部分を繋ぎ合わせるという方法を取った。これらは何も現代小説に限ったことではなく、『源氏物語』や『枕草子』などの古典でも同様の箇所があるわけであるが、現代小説の場合、古典と異なり、恋愛に感ずる表現も随所に散りばめられているという感が強いので、前記の方法を取った。こうした小説を講義で取り扱うに際し、現時点で有効な解決策を筆者は持っていない。有効な御示唆をお願いしたい。

8. まとめ

高木きよこ氏は、日本語教育における読解教育とは、文章中の文字、語句、文法、構文や文章の背景となるものを総合的に指導することを意味するとしている。これまでの筆者の日本語教育の経験から、今回の講義に際する教材作成に関して、この点を参考にし、先ず、語彙一覧の作成を中心におくことにした。講義中、読解に先立つ文字・語彙の側面で重きを置いたのは、先の「見いだす」と「見付け出す」や「どうも」と「どうやら」などの類語の理解であり、次いで留学生にとって理解しにく

い語彙の理解、文章中の文法とその表現についてである。又、「講座 日本語と日本語教育」の中に、読解教材の選択に関して詳細な記述があるが、今回、前記の随筆、小説以外の新聞記事も、事前に学生にアンケートを取り、出来る限り留学生の意向に合った教材を取り扱うことにしたとともに、集めた教材については筆者が吟味し、筆者も読んでいて楽しく理解しやすいものを教材とした。新聞記事の読解は、カタカナ語の理解が大きなネックとなるが、この点については、随筆や小説時と異なり、前記の通常の話彙一覧とは別に、末尾記載のカタカナ語に関する話彙一覧を作成し、カタカナ語の導入時に使用した。尚、当「日本語 I」の講義は全て精読の形で行った。前述までの読解教材の作成試案と指導については、精読時の参考として頂きたい。読解という基礎的で底辺の広い分野を指導するに当たり、筆者が検討しなければならぬ部分は未だ未だ多数あるが、これを一つの案としてみたい。最後に、7月に行った学期末テストは、読解力そのものに加え、こうした話彙や文法力の定着をみるため、客観的に実力が分かる四者択一式中心のテストとした。先のカタカナ語に関する話彙一覧とともに、今後の有益な指導のため、適切な御教示を頂ければ幸いである。

参考文献

- 高木きよ子著「中・上級の読解教育」『日本語教育指導参考書7 中・上級の教授法』（1980）国立国語研究所
伊藤博子他著「朝日新聞で日本を読む」（1990）くろしお出版
平高史也著「読解行動から考えるシラバス：学部留学生に対して」『The Language Teacher』（1992）全国語
学教育学会
手塚安基「日本語長文読解の森 その作成と例題」（1995）静雅堂
藤原雅憲，初山洋介編 「上級日本語教育の方法」（1997）凡人社
木村宗男他編「日本語教授法」（1989）おうふう
寺村秀夫編「講座 日本語と日本語教育 13」（1989）明治書院

資料

参考1. 日本語 I 新聞記事 その二

※読解前に教師の発音を聞き
カタカナ語を書き取る

『ハウステンボスでクリスマス』

※現代日本でよく使われているカタカナ語を書き取ってみます(()内文字数)

- ① _____ (4) …開催, 開くこと
かいさい ひら
- ② _____ (7) …記念日, 記念祭
きねん ひ さい
- ③ _____ (4) …年
とし(ねん)
- ④ _____ (7) …12月25日
がつ にち
- ⑤ _____ (5) …(目的地に)入ること
もくてき ち はい
- ⑥ _____ (4) …定期便の列車, バス、船
てい きびん れっしや ふね
- ⑦ _____ (6) …宿泊や搭乗の手続きを済ませること
しゆくはく とうじよう てつづ す
- ⑧ _____ (7) …遊園地などで人を引き付ける催し物、施設
ゆうえん ち ひと ひ つ もよお もの しせつ
- ⑨ _____ (6) …遊園地
- ⑩ _____ (5) …古風なもの, 古典的なもの
こふう こてんでき
- ⑪ _____ (4) …図案
ずあん
- ⑫ _____ (5)
- ⑬ _____ (6) …旅行客が集中する季節のこと
りょこうきゃく しゆくちゆう きせつ
- ⑭ _____ (5) …式典, 祭典
しきてん さいてん
- ⑮ _____ (6) …浪漫的な, 空想的な
ろまんてき くらうそうてき
- ⑯ _____ (3) …雰囲気
ふん い き
- ⑰ _____ (6) …照明などがつき、まわりがきれいに写し出されること
しょうめい つ うつ だ
- ⑱ _____ (5) …式典, 祭典
しきてん さいてん
- ⑲ _____ (6) …競売すること
けいばい
- ⑳ _____ (8) …電気の装飾, 照明の装飾
でん き そうじょく

参考2. 「日本語 I」 2002.7. 期末試験抜粋(随筆「ゲー公のこと」)

つぎ ぶんしょう よ あと もんだい こた

次の文章を読んで、後にある問題に答えなさい。

(①)だから人間の食べ物はなんでも食べる。食事の時などいくら舐んでも乗らない子供達を尻目 a かけて、(②)飛んで来て大きな焼き肉などをさらっていく。四つになる下の子などは自分の食べたくないパン切れなどをわざとゲー公にくわえさせ、とられてしまったらというのはすました顔をする。スープはひっくり返す。パクダン(ふんのことを子供はこうよぶ)を落とす。食事時はいや大変である。常食としては葡萄とチーズとソーセージをやっている。葡萄はα(食べる→)やすいので便利だが、ソーセージは細かに切ってやる。本物は高くつくから代用品の魚ソーセージに決めているが、結構よく食べる。チーズは代用品がないから特売の安いやつをやることにした。虫も好きだ。軽井沢の夏は大きな蚊にβ(悩む→)ものだが、これが、ゲー公の大好物で上手に空中で捕らえてしまう。そのほか大きな蛾でもバツでも動くものは大抵飛びついて食べてしまうから便利だ。とても好奇心の強い鳥で、子供のおもちゃや大人の指輪、眼鏡、マッチなどなんでも加え出してはあそぶ。困るのは乗客の吸っているタバコを火のついたまま加えて部屋中をまわることだ。あつというまにとつてしま

[問題]

- (1) (①)に入る言葉を下にある a～dの中から選んで答えなさい。
- a. 肉食 b. 草食 c. 雑食 d. 常食
- (2) aに入る助詞を下にある a～dの中から選んで答えなさい。
- a. を b. が c. で d. に
- (3) (②)に入る擬声語を下にある a～dの中から選んで答えなさい。
- a. じつと b. さつと c. ずつと d. ぞつと
- (4) _____の「すました顔」とはどんな顔ですか。下にある a～dの中から選んで答えなさい。
- a. 安心した顔 c. きれいでやさしい顔
- b. 落ち着いた顔 d. 自分とは関係のないというような顔
- (5) _____の「いや」、「けっこう」、「もの」と同じ使い方になっているものを、下にある a～dの中から選んで答えなさい。
- ・「いや」
- a. 信じていた彼に裏切られて、生きるのがいやになりました。
- b. いや、これぐらいの事は何でもありません。
- c. 浦安から日本橋までは、270円、いや230円だったでしょうか。
- d. それにしても、今年の夏はいやに暑いですね。
- ・「けっこう」
- a. 新浦安の駅前には夜でもけっこう人が多いです。
- b. あのお店の料理はともけっこうでしたね。
- c. 食べ物はもちろんですが、お茶をもう一杯頂けませんか。
- d. それはとてもけっこうな話でした。
- ・「もの」
- a. もしもし、きのう、お宅の店でお菓子を買ったものなんですけど。
- b. あなたは、子供のころ、どんなものをよく買いましたか。
- c. 子供のころ、よくあの店でお菓子を買ったものです。
- d. これは、子供のころ、鞆があの店で買ったものです。
- (6) α, βの「食べる」、「悩む」をそれぞれ適当な形に書き直しなさい。
- (7) _____の「あつというまに」を別の言葉で言い換えると何が適切ですか。下にある a～dの中から選んで答えなさい。
- a. 少しの時間に c. もう間もなくという間に
- b. しばらくの間に d. 一瞬の間に

